

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2014年10月3日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## どの子ども、自分らしく生きていく権利の保障を！

道内で20万筆以上の署名めざして、「秋の運動」展開中

どの子にもよりよい保育を！北海道実行委員会は、9月5日、「秋のスタート集会」を行い、「すべての子どもの権利が保障される保育・教育、子育て支援の制度実現を求める請願」署名などに取り組んでいます。市町村や地方議会には、「子ども・子育て支援新制度」をすべての子どもの育ちを支える制度にするための養成や国へ意見書提出の陳情も行っています。

### 自治体・議会への訪問・要請

同会は、恵庭市、千歳市、石狩市、当別町に要請・陳情、札幌保育連絡会は市議会へ陳情しています。

#### 要請内容

- 認定したすべての子どもについて、責任をもって利用調整を行い、希望する保育をうけられるように。
- 保育料など保護者負担を軽減し、実費徴収・上乘せ徴収はしないで下さい。
- 現行保育制度における自治体の単独補助を維持・拡充。
- 公立保育所(公立幼稚園)の廃止・民営化、幼保連携認定こども園への意図的な移行はしないで下さい。
- 保育士など職員の処遇改善のため補助事業の継続・拡充、研修を位置づけて下さい。
- 小規模保育・家庭的保育事業の認可は、全て保育士資格者に。給食自園調理を必須として調理員の配置。
- 学童保育の設備・運営基準は、職員資格と配置、面積基準等子どもの発達保障にふさわしい水準の確保。

### 劣悪な保育労働の実態 集会で告発

9月13日行われた「雇用を語ろう！大集会」では、「当事者からの報告」として14人が壇上に立ち、非正規、正規を問わず低賃金で劣悪な労働実態を告発しました。抜本的な処遇改善が求められます。

#### 「今の仕事が大好きなので続けていきたい」

非正規の保育士からは、保育士不足、労働時間に終わらない業務、正規職員と変わらない業務で、低賃金で自立した生活ができないなど、保育職場の実態を告発しました。

手取で月13万円以下、病院にも行けず売薬でしのぐこともあるが、「今の仕事が大好きなので続けていきたい」と賃金・労働条件の改善が必要と訴えました。

## 2014年度 子育てウォーキング・街頭署名

10月11日(土) 11時~12時30分

集合場所 大通公園 西4丁目 主催 札幌保育連絡会



## ストップ「戦争する国」づくり！くらし・福祉・教育の充実を！

新婦人が「秋の行動」スタート 子どもの医療費署名の道へ提出(2次分)は11月5日



10月2日、新婦人は「秋の行動」のスタートとして、札幌中心街で、署名・リレー宣伝&街なかパレードを行いました。

新婦人では、毎年秋、「軍事費を削れ！くらし・福祉・教育の充実を！」などの要求を掲げ、予算の抜本的見直しを求めて宣伝署名行動を行っています。

この日も、「戦争する国は許せません」「増税反対！」「暮らしを守ろう！」「医療・介護の充実を」「子育て応援を」「学費をタダに」などコールしながら、街なかをパレードしました。沿道から駆け寄って、声援する人もいました。

### 広がる「子ども医療費署名」 1万8千筆越える

また、新婦人道本部が呼びかけている「北海道の『子ども医療費助成制度』の無料化を通院・入院とも中学校卒業まで拡充すること求める署名」は、現在1万8千筆を越えています。11月5日に2回目の提出を予定しています。